

# 大化け人材来れ我が社へ

## 高専に任せろ

### 国立高専生 2017年就職先

企業・団体名	人数(うち女性)	16年
1 JR東海	72 ( 6 )	71
2 サントリーグループ	60 ( 26 )	70
3 花王	55 ( 12 )	50
4 ダイキン工業	53 ( 7 )	48
5 旭化成	52 ( 11 )	38
出光興産	52 ( 2 )	29
三菱電機ビルテクノサービス	52 ( 3 )	60
8 エヌ・ティ・ティエムイー	47 ( 13 )	44
9 関西電力	46 ( 10 )	50
10 国土交通省	45 ( 17 )	59



メンバーズに2017年春入社した高専生の内定式

## サントリーと花王が争奪戦

SCM部門人財開発グループの鈴木清部長が総括の社員を積極的に母校訪問し、ある提案をした。就職を考えている高専生に知り合いがいる入社もってブランドや商品の価値を高めるべきだ」と会議

## 高い探究心に期待大

OBが出前講義 高専OBの同社幹部が高専を回って出前講義を昨年から取り組んでいる。選抜研修に大卒、大学院生も増え続けている。高専生は「大切な採用母体」と位置付けられている。

高等専門学校(高専)卒業生の就職先はどこか。日経産業新聞は国立高等専門学校機構(高専機構)の協力を得て、2017年春卒業の国立高専生の就職先のランキングをまとめた。それによると、優秀な人材が幅広い業種・業界へ巣立っている姿が明らかになった。産業構造の変化も垣間見え、高専生の争奪戦が繰り広げられていた。

「今年は高専生の採用で苦戦を強いられた。受け身では駄目だ」。22日、花王の中核拠点の「すみだ事業場」(東京・墨田)で来期の採用方針を話し合う人事委員会にて



三菱重工は、高専OBの幹部が出前授業を行っている

### 11位以下の就職先

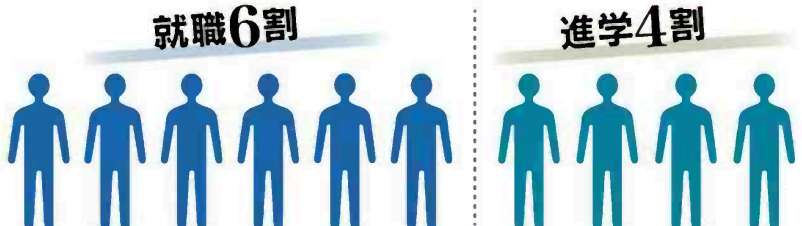
11 中部電力	43 ( 6 )	48
12 東京ガス	41 ( 12 )	43
13 キヤノン	38 ( 4 )	16
14 JXエネルギー	37 ( 3 )	22
15 大阪ガス	36 ( 8 )	37
16 SUBARU	32 ( 0 )	30
17 セイコーエプソン	31 ( 6 )	43
JR西日本	31 ( 6 )	24
メンバーズ	31 ( 9 )	5
20 パナソニック	28 ( 2 )	32
中国電力	28 ( 3 )	32
22 ホンダ	27 ( 1 )	19
23 三菱電機	25 ( 2 )	18
24 日東電工	24 ( 16 )	27
富士電機	24 ( 1 )	29
ANAラインメンテナンス	24 ( 2 )	16
27 東芝メディカルシステムズ	23 ( 3 )	19
森永乳業	23 ( 8 )	12
29 マツダ	22 ( 5 )	19
三菱重工業	22 ( 3 )	21
エヌ・ティ・ティ・インフラネット	22 ( 8 )	21
32 日本触媒	21 ( 0 )	23
NTTフィールドテクノ	21 ( 9 )	21
日立ビルシステム	21 ( 3 )	18
35 ジャパンマリンユナイテッド	20 ( 1 )	19
国立印刷局	20 ( 6 )	14
東京水道サービス	20 ( 5 )	14
富士通	20 ( 7 )	24
39 ファナック	19 ( 1 )	31
NTTコムエンジニアリング	19 ( 8 )	14
日本オーチス・エレベーター	19 ( 6 )	22
42 東北電力	18 ( 0 )	22
日本テックシード	18 ( 0 )	7
沢井製薬	18 ( 9 )	16
雪印メグミルク	18 ( 7 )	12
エヌエイチケイメディ	18 ( 6 )	14
アテクノロジ	18 ( 0 )	11
富士テクノサービス	18 ( 0 )	11
48 京セラコミュニケーションシステム	17 ( 3 )	13
コマツ	17 ( 1 )	2
50 アステラスファーマテック	16 ( 8 )	14
メタウォーター	16 ( 5 )	17
LIXIL	16 ( 4 )	10
JALエンジニアリング	16 ( 4 )	6
ソニーエンジニアリング	16 ( 2 )	-
東燃ゼネラル石油	16 ( 1 )	18
矢崎総業	16 ( 3 )	11

(注)高専機構調べ。専攻科卒を含む。サントリーグループはサントリーホールディングス、サントリーロダックス、サントリービール、サントリースピリッツの合計。一は募集なし=57位以下は19面に

編入先大学 国立が上位 3面に続く

同社ではリア中央幹線の巨大プロジェクトが進行中。全体の採用数も増え続けている。高専生は「大切な採用母体」と位置付けられている。

就職率 ほぼ100%  
有効求人倍率 20~30倍



現場嫌わない」 全国の高専から60人前専卒採用でもしのぎを削

後を毎年採用している花王。すでに高専には太いパイプを持つが、それでもある危機感が頭をもたげる。それは従業員の高齢化だ。50代のエンジニアが多く、技術伝承が経営課題となっている。「現場に入ることを厭(いと)わない高専生は花王のスピリットに合う」と(鈴木氏)

有効求人倍率が20倍から30倍といわれる高専生の就職事情。企業や自治体などをひきつける魅力は何なのか。

採用総数の3分の1程度を高専生が占めるサントリーグループの答えは明快だ。「15歳で(高専という技術者としての)人生を選ぶ真摯な姿勢。理論も分かっているから飲み込みが早い。専門性も求めるが、もったいないのもっといろいろな活躍の場を用意している」と(サントリーホールディングスMONOZU KURI本部開発生産推進部の居原田圭課長)。

高専生の素養の高さだ。今回のランキングでサントリーと花王は2位と3位。マーケティング巧者の両社は文系採用ではなく、希望者が重なっていることとは知られていたが、高専卒採用でもしのぎを削

OBが出前講義 高専OBの同社幹部が高専を回って出前講義を昨年から取り組んでいる。選抜研修に大卒、大学院生も増え続けている。高専生は「大切な採用母体」と位置付けられている。

高専OBの同社幹部が高専を回って出前講義を昨年から取り組んでいる。選抜研修に大卒、大学院生も増え続けている。高専生は「大切な採用母体」と位置付けられている。

高専OBの同社幹部が高専を回って出前講義を昨年から取り組んでいる。選抜研修に大卒、大学院生も増え続けている。高専生は「大切な採用母体」と位置付けられている。